



令和6年度 12月の園だより



「見ててね。」

先月はあか組さんの“お楽しみ会”がありました。まだ小さな3歳児さんが大きなステージの上で踊ったり、職員と一緒に表現あそびをする姿にわくわくしました。涙がでることも、緊張している姿も愛しくて、そこにいてくれるだけで幸せな気持ちになりました。ステージ上から保護者の方を一生懸命探して手を振り、見つけると安心したように笑顔を返したり、思わず、「おかあさん、だっこして〜」と叫ぶ子どももいました。それぞれに小さな思いがたくさんあふれていましたね。きっと、お楽しみ会が終わってからいっぱい抱っこをしてもらったことでしょう。

お便り帳には、制服の正装姿や、舞台の上に友だちと立っているだけで涙が流れてきたこと、子どもよりもドキドキしていたかも…などと、保護者の方の思いが綴られていました。お子さんの成長を感じる素敵なひと時となりましたね。

突然ですが、『はじめの100か月の育ちビジョン』（こども家庭庁から）をご存じですか。お母さんが子どもを妊娠してから小学校1年生の7歳位までが、おおむね100か月。長い人生を幸せに過ごすためには、人生の基盤を築くはじめの100か月という重要な時期を社会全体で支えていこうという子どもの育ちの5つのビジョンが盛り込まれたものです。その中のひとつに、「安心と挑戦の循環を通してこどものウェルビーイングを高める」という言葉があります。子どもには挑戦を、そのためには深い安心感をということが書かれています。子どもは「安心」という土台があるから、その安心感をもとに、外の世界へ「挑戦」することができます。ちょっと不安な時、いつも自分を守ってくれる特定の大好きな人にくっつくことで気持ちを和らげて安心感を獲得していくのです。

3歳児さんの“おたのしみ会”の姿からも、保護者の方を探して安心していたように、また、ここから大きくチャレンジしていくのでしょうか。赤ちゃんの時から「あなたが大好き」の気持ちを大事に伝えていきましょう。

今月は、4、5歳児さんの生活発表会があります。友だちの存在を意識して一緒にのびのびと表現する4歳児さん。保育園生活最後の発表会を友だちと一緒に考えたり工夫しながら力を合わせようと取り組んでいる年長組さん。「私はこうしたい」「それは嫌なんだけど」「でも、もっとこうしたら楽しいよね」と話しあっているようです。子どもたちの意見に耳を傾けながらお話の世界のイメージをふくらませたり、元気に歌ってみんなの声が合わさる気持ちよさなどを感じながら楽しく経験できたと思っています。

このように、友だちと考え工夫し粘り強く物事にチャレンジしていく姿勢も100か月の育ちビジョンの中で大切にしている項目です。もとより、みみょうでは0歳から2歳までの乳児期を安心の中で大切に育み、幼児期にはさらに、友だちの中で生きいきと挑戦していくことを大切にしています。この姿は、さらに小学校以降にもつながっていくことを考えて保育をすすめています。発表会を控えている子どもたちは、お家に帰ったらいろいろな話をすると思います。楽しみにしてるよと伝えながら、しっかり聞いてあげてください。

早いもので、今年も残り1か月です。年末年始は少し長いお休みになりますが、ご家族揃って楽しいお休みとられますように。少し早いですが、良い年をお迎えください。新年には、子どもたちの元気な笑顔を待っています。

園長



子どもたち、職員、保護者を巻き込んで、素敵なおかしのかがしが完成！！結果は…初出場で初優勝！！ぞうに乗れたり、どんぐりを転がし遊べたりしたことが、今までのかかしの概念をくつがえし、子どもたちにも大人にも大人気だったそうです。優勝も嬉しかったのですが、みんなで話し合ったり、考えて、試行錯誤しながらやったこと、その過程に意味があるんだなと感じています。参加したどのチームも素敵なかかしばかりでした。ペットボトルの提供などありがとうございました。

保育者も



たくさん話を重ねて…。どうやって作ろうかな？

子どもたちも



試行錯誤しながら…。ここを留める？やってみよう！！

子どもたちも



カラフルなぞうにしよう！！

親子も



みんなで考え、力を合わせて



ぞうのからだができきた



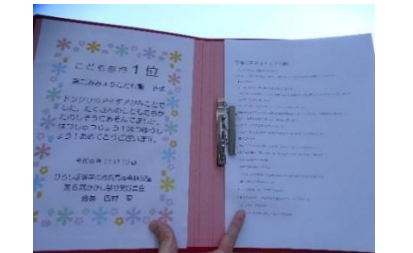
ぞうのからだができきた



いざ！かかしまつりへ



1位のハッピー☆だぞう！！



1位のハッピー☆だぞう！！



初出場！初優勝！！おめでとう！



園に帰ってきて子どもたちに大人気！！



園に帰ってきて子どもたちに大人気！！